

# Q & A 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

**問** 新島村の再生の鍵となる産業の育成は？  
村は産業に対しどういった方向性・



山本均 議員

**答** 人口が減少している中、産業全般にわたり後継者不足が大きな問題となり、島外からの人材受け入れや定住化住宅の整備も検討していかねばならない。今後、各団体と協議して取り組んで

展望を持ち、新年度以降の各事業が未来に向けての着実な進歩となり得るのか、わかりやすく示してほしい。



ゴールデンウィーク初日の新島港の下船風景。

表紙は語る

3月定例会の会間の土曜日、最終日となる式根島みに博物館、みに資料館を見学した。二月の土日を中心に7日間解放され、毎回40、50人が訪れる盛況ぶりである。会場の足付船客待合所は一昨年11月の改修式典以来の利用例と思われる。

主催は式根島青年団 しきね想島会（そうとうかい）で、自発的に海岸清掃や地域での賑わい

イベントを行っている。会場には、式根島の元教員による1万点以上の生物標本や、式根島の自然文化の資料や、草木染めの展示、体験ブースや流木アートのベンチなども設置されていた。

箱物（ハード）の整備は、このように血の通った活動（ソフト）と合わさってこそ、島おこしになると感じた。

（取材・木村諭史）

### 議会にいきかう言葉

実際の議長の選出は、通常、議員選挙後の初めての全員が顔をそろえた会合（まだ議員の全員協賛は発足していない）で、まずは話し合い。

和やかな雰囲気の中、自薦他薦が交錯し、一人にまとまれば万々歳。が、百家争鳴となると同志を募って水面下の交渉へと舵を切る。直接本人が折衝し、ある

いは応援議員が動いたり。そして本会議当日、年長議員が議事進行役を務め、どちらの場合も選挙の形を採り、投票となる。知る人ぞ知るであったその結果は……。

政治劇は恋愛ドラマに擬せられ、極めて人間臭い。外野席では議員相互の関係や議会における力のバランスに想いを寄せることになる。

いきたい。

特養ホームの運営はどうなるのか？

#### 問

特養ホームの今はどうなっているのかお訊きする。またホームの運営の方法を見直す用意はあるのか？

#### 答

3月1日現在の就業状態は、11月時点と比べて契約職員1名ずつの入退職があり、総職員数74名（常勤換算63名）で変更はない。新住宅は入職内定者が3名いて4月以降順次、入居を予定している。

今後は現状規模維持のため法人の運営努力と現実的な運営や事業転換等への検討を行っていきたい。



この日はお待ちかねの寿司の昼食。

#### 問 総合戦略と事業化

この戦略の目的は、いかに人口を増や

していけるかで、基本的な方針は「雇用の創生」「新しい人の流れづく

り」「結婚・出産・子育てへの支援」「安心・安全な暮らしの確保」から成っている。これらを見据えた具体的な事業計画があるのかお訊きする。

#### 答

村の五力年の実施計画は毎年見直しを行い策定している。この計画から総合戦略に関する事業をピックアップして再構成する考えはない。が、総合戦略に基づき実施計画に落とし込んだ事業は、示すことができるので今しばらく時間をいただきたい。

式根島の透析治療の対応は？

#### 問

昨年11月に式根島の住民から人工透析の治療の陳情があった。村としては現実をふまえたうえでどのように対応するのかお訊きする。



本村診療所内の透析治療室。6床ある。

**答** 仮に式根島で透析治療を実施するとしたら機器導入に係る経費は、総額（3人分程度）で3千万〜4千万円となる。一番の問題は医療人材の確保で、現在の体制に加えさらに医師1名、透析技師1名、看護師1名を配置する必要がある。その人件費は

3千万円程度かかるが、何より人材の確保が難しい。

式根島の住民が新島に通う、または新島に住まざるを得ない状況は、大変心苦しく思っているが、今後村としてどのようなサポートができるか考え、よりよい医療の提供を行っていきたい。

前田 卓秀 議員



新島スポーツ広場について

**問** スポーツ広場のビーチバレー場が



つわもの共が夢のあと。寂りょう感が漂う。

国体以降使われていないが、今後どのように有効活用していくのか？

なっている。

**答** 平成25年に東京国体で整備し、使用後はそのままの状態と

今後は清掃したうえで、住民や観光客に開放して広場的な利用ができないか検討してらう。





B堤漁港内に係留されている定置網漁に使う漁船。

定置網漁について

**問**

昨年からの定置網漁がなくなり、飲食店や加工業者などは「赤イカや魚が安く手に入らない」と困っている。今後、定置網漁は復活する

**答**

予定はあるのか？平成28年末から定置網事業は、漁協の総会を経たうえで事業を撤退している。理由に

については様々な要因があると思うが、自然の影響や多額の経費がかかることや漁獲量も減少したためなどと伺っている。復活についてはいじま漁協で検討され判断なされるべきことであると認識している。

大沼 弘一 議員



島外病院を受診する際の交通費等の助成制度について

**問**

助成制度について12月議会で質問させて頂き「各島の町村長と協議し東京都

に要望して行きたい。村独自の負担軽減はその結果を踏まえて検討して行きたい」と大変心強い回答を頂きました。3カ月が経過し協議、要望活動の結果は？村独自の負担軽減策は新年度予算に計上されているのか？

**答**

助成については各町村において差があり、今後も意見交換が必要です。東京都への要望は現在行っていない。村独自の負担軽減費用も予算措置としておりません。

**問**

早急に検討し年度中の実施は？実施出来るように努力する。

**答**

新年度施政方針について

**問**

施政方針の中で産業振興について質問

問致します。施政方針では「引き続き」「継続して」との言葉が多く使われており、新たに実施する事業が少なく感じております。村長の考える各産業の活性化された姿とは？また島の産業の未来にどのような夢をいだいているのか伺う

**答**

産業の活性化や振興を進めるためには、現状を把握して振興策を練らなければと考えている。このため産業団体に出向き、意見・要望を聞いて政策に生かすよう努めている。

**問**

村長自身が明確な産業振興のビジョンを持ち、それを職員と共有することが大切と考えるがいかがか。

**答**

目標もある程度出すことは必要では

ないかという議員の指摘は理解した。

新島村総合戦略における人口減少の歯止めは

**問** 新島村総合戦略定当時の石破大臣は「努力した地方とそうでない地方と格差が出るのは当たり前だ」と警鐘し、地方の努力を促しております。残念ながらここ数年、当村の人口は急激に減少しております。

村長は村のすべての事業が総合戦略だと語っておりますが、それならずすべての事業でPDCAサイクル（計画・実施・検証・改善）は機能しているのか伺います。また今年度の重点施策は？

**答** 総合戦略の中に毎年必要な見直しを行うことが明記されている。本年は新島村島アブリ開発事業について検証

を行った。今後は平成31年度が計画終了期間となるので総合戦略に計上されている事業の検証見直しを行うつもりです。

※重点施策についての回答は多岐にわたっており紙面の都合上割愛する。

木村 諭史 議員



住民参加型会議の活用について

**問** 村長は車座形式の意見交換会を重要視しているが、さらなる

大人数にも対応できるように、いくつかのテーブル（島）に分かれて意見



村民ワークショップの一例。

を出し合うワークショップ形式の会議をより積極的に取り入れるべきではないのか？

**答** 村民の皆様がより積極的に参加し、

意見が言えるような研修や会議の運営に今後も務めていく。

会議推進役の人材育成について

**問** 住民参加型会議にはファシリテーター（会議の推進役）が欠かせない。ルールを丁寧に説明し、雰囲気や和らげ、参加者全員にバランスよく発言を促します。結論を誘導するのはなく、問題の構造を紙で整理したりします。

課を超えた応援ができるように年間3名など目標を定めて人材養成を検討してはいかがか？講師を呼び大人数で研修を受けるのもどうか？

**答** 新しい時代に求められる多様な人材を育成してゆくためには、このような能力を身につける研修も必要。職員研修所の研修メニューの中にファシリテーション研修もあり、講師を呼ぶことも含めて今後検討します。